

真昼の暗黒 (1956)

メディア 映画

ジャンル サスペンス

製作国 日本

色彩 B&W

時間 112分

初公開日 1956/03/27

【解説】

正木ひろしの『裁判官一人の命は権力で奪えるものか』を橋本忍が脚色し今井正が監督。当時まだ裁判が継続中だった実際の事件をベースに、冤罪の恐ろしさをリアルに描き話題を集めた。三原村で老夫婦が惨殺され、金品が奪われる事件が発生。警察は笠岡市の遊郭にいた小島武志を逮捕、共犯者を自白させるため厳しい取り調べを続けた。やがて捜査線上に小島の土工仲間である植村をはじめ四人の男が浮かび上がる。厳しい尋問に耐えかねた小島は、四人とも共犯だと自白させられ、全員が逮捕されてしまう…。

【クレジット】

監督 今井正

製作 山田典吾

原作 正木ひろし

脚本 橋本忍 Shinobu Hashimoto

撮影 中尾駿一郎 Shunichiro Nakao

美術 久保一雄

音楽 伊福部昭

出演 草薙幸二郎

松山照夫

左幸子

内藤武敏

飯田蝶子